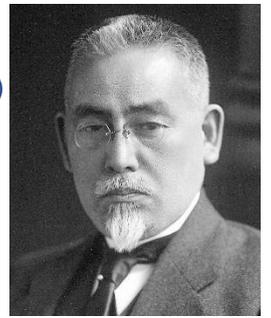


令和元年 8 月号



新平顕彰塾



令和元年 8 月 7 日 (水) ~ 9 日 (金)
《武家住宅資料館》

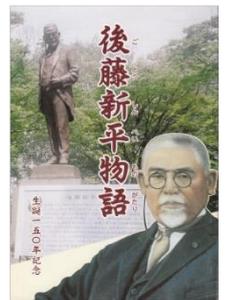
【1 日目：開講式・紙芝居・学習 I】



後藤新平顕彰会主催の標記事業が、水沢小学校の 6 年生 18 名を対象に実施されました。開講式が終わると、「後藤新平物語」の「紙芝居」。そして、学習へと進んでいきます。

講師は、テキストの著者である梅森健司先生。音読・黙読・暗唱・発問・指名等々、御年 86 歳とは思えぬ迫力ある本格的な 50 分授業が展開されました。

連日の記録的な猛暑の中、武家住宅を会場に実施しましたが、雨戸や襖を全て開け放ち、軒下に下げた風鈴の音を聞きながらの学習。何とも風情のある光景です。



【2 日目：学習 II・旧宅見学】



学習の後、斜め向かいにある「後藤新平旧宅」を、武家住宅学芸調査員の案内で見学。本宅裏にある、新平のお姉さんの初瀬さんが名付けたと言われる「新平しばられの小屋」を山口顕彰会会長が案内。

【3 日目：学習 III・閉講式】



全ての学習を終え、児童に参加賞や皆勤賞が渡されました。3 日間、子どもたちを見守った先生にも！最後は、松森顕彰会副会長の先導で、自治三訣の唱和。酷暑を乗り切った顕彰塾でした。